

# 川俣氏が3選

3選を果たし、支持者と万歳する川俣純子氏(中央) 19日午後9時35分、那須烏山市中央2丁目、近藤文則撮影



## 那須烏山市長選 新人3氏を退ける

当 5848 川俣純子  
4552 青木敏久  
1229 佐々木豊  
810 小川雅幸

開票結果(敬称略)

任期満了に伴う那須烏山市長選は19日投開票が行われ、無所属現職の川俣純子氏(65)＝自民推薦＝が、前市議の会社経営青木敏久氏(62)、会社役員佐々木豊氏(60)、団体職員小川雅幸氏(56)の無所属新人3人を退け、3選を果たした。川俣氏は「未来へ羽ばたく新たなまちづくり」を掲げ、JR烏山、大金両駅周辺の再整備などを訴え、激戦を制した。投票率は61・58%で、川俣氏が初当選した2017年の前回(57・77%)を3・81%上回った。

川俣氏は公務などで出遅れ感があったが、告示前は地区ごとのミニ集会、告示後は街頭演説などで巻き返しを図った。特に「競り合い」との情勢報道が出た後の終盤2日間、両日とも10本以上の街頭演説を行うほど熱を入れた。当選が確定した午後9時半過ぎ、同市中央2丁目の結果報告会場に緊張した面持ちで姿を見せた。万歳三唱後によりやく破顔。「最高のメンバーに支えられたことを忘れず、皆さんと最高の那須烏山市にしていく」とあいさつし、支援者と喜びを分かち合った。

「変革。未来へ！」と市政刷新を訴えた青木氏は、新市庁舎整備計画の再検討など現職との対立軸を打ち出して批判票の取り込みを図ったが、及ばなかった。同市中央1丁目の事務所では支持者らを前に「全ては私の責任で力不足。この結果を重く受け止め、皆さまに心からおわびを申し上げます」と深々と頭を下げた。

佐々木氏は交流サイト(SNS)での訴えや駅前での演説で支持拡大を図ったが伸び悩んだ。取材に対し「信じて投票してくれた方に感謝したい。ベースがない中でゼロから約1200票まで伸びたが、難しい戦いだった」と述べた。

小川氏は「ここまで大差がつくとは。惨敗」と、同市興野の選挙事務所で支持者に頭を下げた。「政策はしっかり伝えられたと思う。市民が選んだ結果。仕方ない」と肩を落とした。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号  
〒320-8686  
下野新聞社  
電話 028-625-1111  
郵便振替口座 00180-1-623433  
©下野新聞社2025

読者室 028-625-1179  
(受付 月～金 午前10時～午後6時)  
編集局 028-625-1121  
販売 028-625-1120(購読)  
事業局 028-625-1134(営業)  
ビジネス 028-625-1133(広告)

下野新聞社ホームページ  
<https://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外

スマホ アプリ PC  
下野新聞 digital デジタル



新聞購読者なら「下野新聞デジタル」は無料  
下野新聞を購読の方は「しもつけID」への登録で「下野新聞デジタル」のサービスを無料でご利用いただけます。

しもつけIDへの登録はこちらから

しもつけIDとは、「下野新聞デジタル」のコンテンツやサービスにアクセスするためのIDです。登録が必要です。

デジタルだけの利用ならフルプラン 月額3,564円

アプリは一部、もっと便利で使いやすい

アプリは全機能に最新し、気になる記事を切り抜いて保存できる「スクラップ機能」を搭載しました。話題のイベントやニュースも、その日の主要ニュースや一足早く読めるお楽しみ情報などをタビとして配信します。

ウェブサイトでも速報、オリジナル記事

「下野新聞デジタル」のウェブサイトでは、デジタルだけの読みこたえのある記事や、写真や動画、イベントなどの速報も配信します。

お問い合わせ

下野新聞社 販売事業局企画管理部

TEL 028-625-1120

(平日午前10時～午後5時)

バスケットの故郷

「バスケットで街おこし」  
好評の連載小説  
20話まで無料公開中

